

みっくらぶ

「みっくらぶ」とは、
Medical Imaging Clinicと
CLUBを合わせたものです。



当院1Fロビーの一角をアートギャラリーとして
絵画・彫刻を展示しております。ごゆっくりおくつろぎ下さい。

作品名:トロギールの想い出 作 者:山浦多久二 2017年6月~2018年4月 当ギャラリーにて展示しました。

2018
vol. 9



[特集] 痛みのない高分解能乳房検査(乳房用PET装置)

院長ごあいさつ



PROFILE

いとう まさとし
伊藤 正敏

仙台画像検診クリニック院長
医学博士
日本核医学会核医学専門医
1972年 信州大学医学部医学科卒業
1979年 英国ハマースミス病院
サイクロトロン部門客員研究員
1986年 東北大学サイクロトロン
・RIセンター核医学研究部教授
2007年より現職、東北大学名誉教授、
東北福祉大学客員教授

当院は、最新の診断装置を利用した診療を快適な環境で提供することを目標として、2007年に設立されました。

一般に私たちが得る情報は、視覚によるものが最も重要で理解しやすいとされています。視覚の対象自体はアナログですが、デジタル化することで、データに数学的処理(画像処理)を加えて複雑なものを分かりやすくすることが可能です。あわせて、データの保管や持ち運びが容易になります。デジタル画像では、病気の診断ばかりでなく、治療効果についても以前の画像と比較することで評価できます。同じ人物の過去と現在を比較できるばかりでなく、地域や国を越えて医療情報を交換できます。以前はX線フィルムが主流でしたので、外国に送るのは大変でしたが、今はインターネットで簡単に送ることができます。

当院は、デジタル診療を推進していますが、大きな特徴として、PETを中心に検査を組み立てています。PETは、身体の細かな構造の把握ではなく、身体の構成要素である細胞の活動性を画像化するものです。現在は、ブドウ糖の使われ方を測定し、がんや炎症(心臓サルコイドーシスが保険適用されています)を検出していますが、近い将来には、認知症の診断への応用が期待されています。アルツハイマー型認知症では、神経内に異常たんぱく質が蓄積することで神経細胞が死んでいくことがわかっています。この異常たんぱくの蓄積量がPETで測定できるのです。認知症が発症する前に、発症の危険度を予測できるようになります。現在は、認知症の進行を遅らせる薬があるものの、治すことはできません。認知症の早期診断法を、まず確立し、治療薬の開発を進めることができ、製薬会社の重要な開発目標となっています。治療薬は、神経細胞が死んだ後の進行認知症患者さんに投与するより、臨床症状発症前の患者さんに使用する方が有効となるのは明らかです。認知症は、が

んと同様に生命を脅かす疾病ですが、同時に、罹患された方が果たしていた社会的役割を、いつのまにか崩してしまう大変な疾患です。がんと認知症が現在の医療の最重要課題ですので、当院もこの問題に貢献したいと準備をしている状況です。

さて、当院の運営には、東北大学をはじめ多くの施設の先生方が協力してくださっています。昨年は、当院ゆかりの以下の方が表彰や叙勲を受けられましたので、ここにお知らせいたします。受賞事由は当院業務と直接関係ございませんが、縁を得ましたことを大変光栄に存じます。

●2017年1月

河北文化賞 大井龍司 東北大学名誉教授

●2017年6月

文部科学大臣賞 賀来満夫 東北大学教授

●2017年11月

旭日重光章 大山健太郎

アイリスオーヤマ代表取締役社長

●2017年11月

瑞宝小綬章 宮川菊雄 元仙台通信病院院長

●2018年3月

日本東洋心身医学研究会研究奨励賞

小田野行男 分子イメージング研究部長

そのほか、乳腺PET(PEM)の乳癌診断への新しい利用法について国際研究雑誌に発表いたしました。

2017年12月 ヨーロッパ放射線医学雑誌(Eur Rad.)
18F-fluorodeoxyglucose specimen-positron emission mammography delineates tumour extension in breast-conserving surgery: Preliminary results.
Watanabe G, Itoh M、ほか8名共著

2018年4月 第62回日本リウマチ学会総会にて佐藤由紀夫副院長が発表予定です。



[特集]

PEMGRAPH

……乳房用 PET 装置

早期乳がんの発見に威力を發揮。 痛みを低減した検査が可能に

当院に設置されている古河シンチテック製「PEMGRAPH」(乳房用PET装置:以下PEM)は小さな乳がんを発見できるという特長を生かして、乳がん、腋窩リンパ節の診断に利用されています。一般的にマンモグラフィや超音波は腫瘍の形態的特徴を指標として診断を行いますが、小さながんや乳腺が厚い場合は、判断が難しくなります。一方、PEMは細胞の代謝を利用してがんを検出するので質的判断情報が高く、厚い乳腺でもがんの検出が可能になります。

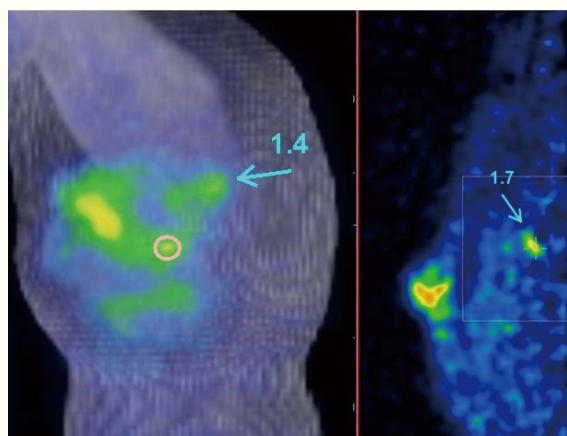
PEMは「超音波では、のう胞や結節疑いなどがたくさん見つかりすぎて過剰診断になること、また厚い乳腺の場合マンモグラフィでは診断が難しい症例が出るため、組織の代謝レベルを指標として診断するPETが効果的ではないか」という考えで開発が始まりました。そして、東北大学多元研と古河機械金属との共同研究を行い、2015年4月に厚生労働省の医療機器の認可をとり、販売を開始しました。

PEMの検出器は平行平板2枚構成で、検出器を乳房に接近させる事ができるため、感度上昇とノイズ減少に貢献しています。マンモグラフィでは患部を強く圧迫するために苦痛を伴ってしまいますが、PEMは乳房をやさしく固定する方式を採用しております。さらに撮影にかかる時間も短いので、痛みを訴える患者さんはいません。

また、痩せ型の方を撮影した場合、円形PEMでは乳がんが撮影視野から外れることが多いという問題がありました。PEMは対向型のため、柔軟な撮影が可能です。そのため乳房だけではなく腋窩リンパ節の撮影も可能となっています。

PEMは当院の経験をもとに現在も開発が続いており、現在は2mmの解像度ですが、目標としては1mmを目指しており、乳がんの早期発見に役立てたいと考えております。

右乳腺内側に発生した早期乳がん症例



PET/CTでは乳房外側部が特徴的に光っているが、実際は、左矢印(SUV=1.4)部位が病巣であった。右図(PEM)では、明瞭に病変が描出されている。

内科・専門外来 からのご紹介



PROFILE

さとう ゆきお
佐藤 由紀夫

仙台画像検診クリニック副院長
医学博士
日本内科学会認定医・総合内科専門医
日本リウマチ学会専門医・指導医
日本アレルギー学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医
日本リウマチ財団登録医、平成6年度
日本リウマチ財団米国派遣研修医
1983年 福島県立医科大学医学部医学科卒業
2001年 福島県立医科大学医学部教授
2012年 仙台・太白病院院長
2016年より現職、東北大學非常勤講師兼任

30年近くリウマチ・膠原病、アレルギー、消化器疾患の診療、研究、教育に従事し、複数の学会の専門医や指導医の資格を取得しました。膠原病は若い女性に多い難治性炎症性疾患ですが、30年前は膠原病の原因である免疫異常の解明が困難で、有効な治療法も限られており、亡くなる方も稀ではありませんでした。また、関節リウマチの進行を抑えることも困難でした。そのような状況を見て、リウマチ・膠原病、アレルギーの原因となる免疫異常の研究を専攻しました。

1990年代になり分子生物学的研究手法が医学に応用され、免疫学が急速に進歩し、リウマチ・膠原病の病態解明や治療に光が射してきました。私は最先端の免疫研究に触れてみたいと強く感じ、日本リウマチ財団米国派遣研修医として、リウマチ学で高名なデニス・カールソン教授が主宰する米国カリフォルニア大学サン・ディエゴ校(UCSD)内科に留学しました。(図1)

UCSDでは免疫や炎症、アレルギーを制御する研究に没頭し、新しく発見された免疫物質がアレルギーを抑制することや、ワクチンの効果を高めることを発見し、米総合科学誌「サイエンス」に発表しました。帰国後も長年、リウマチ・膠原病、アレルギーの診療、研究、教育に従事しました。

今は診療中心の生活となりましたが、これまでの研究で得た知識も診療に役立つことが実感できています。2017年2月、当クリニック2階に内科診察室が新設され、内科診療が始まりました。内科では、最新の医療情報とこれまでの経験とをもとに、患者様に安心で最新、最良の医療を提供できるよう努力してきました。今後も親身で丁寧な診療を心がけて参りますので、どうぞお気楽に来院ください。

図1



1991年5月 UCSDにて
(左)デニスカールソン教授と





一人でも多くの人をガンから救いたい。 それが私たちの願いです。

患者様が医療の中心であるとの基本理念と医療倫理をもとに、最新の医療情報を常に診療に取り入れ、最適で最良かつ安全な医療を提供いたします。医療においては信頼関係が大切であり、丁寧な診察と、病気や治療法を分かり易く説明することを心がけています。また、電話でのご質問にも回答しています。

診療の特色

1. 当クリニック検診部門が培ってきた高度な画像診断能力を内科診断に取り入れることにより、正確な早期診断・治療が可能です。「不明熱」は診断が難しい病気ですが、発熱の原因は感染症、癌、膠原病などさまざまなもので、原因が分からないと治療ができません。PET/CT検査は不明熱の診断に有用であり、不明熱で紹介された患者様に施行したPET/CT検査で、食道周囲の炎症を見つけ、治療できた症例を経験しています(図2)。MRI検査は関節リウマチの早期診断に有用で、通常のレントゲン写真では写らない早期の関節病変を見ることができ、早期診断・治療に役だっています。



2. 専門外来では関節リウマチや強皮症などの膠原病、喘息や花粉症などのアレルギー性疾患、消化器疾患を担当しています。世界標準の診断基準や治療ガイドラインを参考に、専門医としての経験を生かしながら、患者様一人ひとりに適した安全で最良の医療を提供できるよう努力しています。当科で行っている最新の治療として、関節リウマチに対する生物学的製剤や分子標的薬の投与や、スギ花粉症やアレルギー性鼻炎の根治療法となる舌下免疫療法(スギ、ダニ)があります。最新治療を行うに当たっては、効果だけでなく安全性の検討や副作用対策を十分に行なうことを常に心がけています。

図2 不明熱の原因検索にPET/CTが有効であった1例



PET-CT

炎症部位が明瞭に描出



単純CT

炎症部位は指摘できない



Pick up!

P E T – C T 検査のご紹介



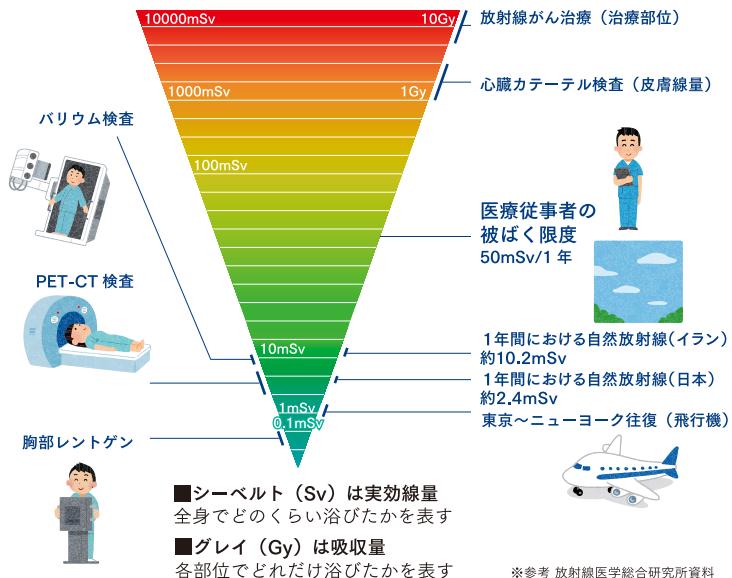
P E T 検査とは

P E T (ペット)検査とはPositron Emission Tomography (陽電子放出断層撮影) の略でがん等を検査する方法の一つです。がんの細胞に糖分が集まる性質を利用し、撮影時に、糖分が集まっている部分を目視できるようにする¹⁸F-FDGというお薬を体に注射します。こうする事により、体内のがん細胞の位置を特定する事ができます。ただし、P E T検査では正常組織が見えてこないのでCT検査を併用し、体内の臓器や血管、骨等の位置を把握して、CTの画像とP E Tの画像を重ね合わせる事でより正確ながん細胞の位置を特定する事ができます。P E T – C T検査は、P E TとC Tを組み合わせた検査となります。

最後に

当院のP E T-C T検査が、皆様の健康維持に役立つことができれば幸いです。私達も皆様が安心し気持ち良く検査を受けていただけるよう日々努力を続けて参ります。

身の回りの放射線被ばく



※参考 放射線医学総合研究所資料

被ばくについて

P E T – C T 検査には放射線被ばくがあります。放射性薬剤の¹⁸F-FDGを注射する事により約4mSv被ばくし、C T検査では約4mSv被ばくをします。合計で約8mSv被ばくする事になりますが、医学的には人体に影響する可能性は極めて低いので御安心下さい。当院ではCT検査での放射線量を少なく設定しておりますので、全体で約6mSvの被ばくとなっております。

ちなみに私たちが、日本で1年間に自然界から受けける放射線被ばくは約2.4mSvとされており医療従事者の1年間における被ばく限度は50mSvとされています。



仙台画像検診クリニックのおもな設備

PET/CT 2台



PETとCTを一度に撮影できる装置です。PETによる機能画像撮影とX線を使った断層撮影をあわせることで、がんを含む全身の活動性病変を一度に描出します。

当院ではMコースを除く全てのコースで使用しています。
(シーメンス社製)

MRI



(GE社製)

MRIとは、磁気共鳴画像装置のことです。磁場と電波を利用して体内の画像を得るものです。当院ではD・Pコース、脳検診に使用しています。

PEM (PEMGRAPH)



(古河シンチテック社製)

乳房専用のPET装置です。従来のPET検査では発見の難しかった5mmの大乳がんを描出できる解像力を実現。P3コースのほか、オプションとしても受診いただけます。



内視鏡（上部・下部）



上部(胃・十二指腸)下部(大腸)の内視鏡です。当院では全てのコースでオプションとなっております。実施できる日が限られておりますので予約時にご確認下さい。



X線マンモグラフィ

乳房X線撮影装置です。圧迫板で挟み、薄く伸ばして撮影することで、触診では発見の難しかったしこりなども、診断することができます。全てのPコースのほか、オプションとしても受診いただけます。

超音波診断装置（エコー）



超音波を使って主に内臓の様子を画像化する装置です。当院では、Aコースを除く全てのコースで腹部・骨盤の検査に用いるほか、コースにより甲状腺・乳腺などの検査も行います。



1F/ロビー



2F/特別待合室(個室)

待合室

落ち着いた雰囲気でリラックスして受診いただけます。

検診の流れ

事前のご予約

お電話かFAX、またはインターネット予約にてお申し込み下さい。

1 食事の制限

受診前日の夜9時以降は食事を控えて下さい(Aコースのみ検査前5時間絶食)。なお、水や日本茶はお飲みになって構いませんが、糖分の入った飲料は飲まないで下さい。



2 受付・問診

内容のご説明をいたします。その後、問診をおこないます。問診が済みましたら、検査着に着替えて下さい。



3 注射・安静

「くすり(FDG)」を静脈注射します。注射後、約60分休憩室で安静にしていただきます。案内がありましたらお水を飲んで下さい。



4 排尿

体内に余分な「くすり」を残さないよう、撮影直前に排尿します。



5 撮影

PET/CTで撮影します。
撮影には約30分かかります。

6 休憩 [待機]

撮影した画像をチェックする間、別室で約15分待機していただきます。

7 終了

軽食を用意しております。食事が済みましたらお帰り下さい。

検査結果



3週間程度でご希望場所へ受診者様名義にて郵送いたします。
※P1コースを除き、受診当日の結果説明は行っておりません。

■面談による結果説明をご希望される方は、ご予約の上、
後日面談とさせていただきます。

受診前日

食事は通常通りお摂りいただけますが、飲酒はお控え下さい。受診前日や当日の激しい運動は避けて下さい。

受診当日

受診前 お水・日本茶などの飲み物は飲めますが、それ以外の食べ物は飲食しないようにして下さい。糖分の入ったものや乳製品をお飲みになると、検査に使用する「くすり」の性質上、正確な検査ができなくなります。(特にスポーツ飲料や栄養ドリンク、ジュース、牛乳、果物など糖分を含む物を飲んだり食べたりしないようにご注意下さい)

受診後

PET検査受診後、当日は妊産婦や乳幼児との緊密な接触を控えるようにして下さい。

完全
予約制

コース料金のご案内

自由診療

土・日・祝日の受診も可能です。
希望日の2週間前～2ヶ月前にお申し込み下さい。

検査コース	検査時間	料金
A コース PET/CT検診 PET/CT(体幹部のみ) ※ペプシノーゲン検査は行いません。	約3時間	75,600円 <small>(税込)</small> [税抜 70,000円]
B コース PET/CT人間ドック PET/CT(脳・体幹部)、超音波エコー(腹部・骨盤)	約3.5時間	86,400円 <small>(税込)</small> [税抜 80,000円]
C コース PET/CTがん検診 PET/CT(脳・体幹部)、超音波エコー(腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種	約3.5時間	103,140円 <small>(税込)</small> [税抜 95,500円]
D コース PET/CT・MRI検診 PET/CT(脳・体幹部)、MRI(腹部)、超音波エコー(頸部・腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種	約5時間	151,740円 <small>(税込)</small> [税抜 140,500円]
P1 コース プレミアムコース <small>当日結果説明つき</small> PET/CT(脳・体幹部)、MRI(腹部)、超音波エコー(頸部・腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種 ●当日結果説明(1日2名限定)	約6.5時間	194,400円 <small>(税込)</small> [税抜 180,000円]
P2 コース プレミアムコース <small>免疫力判定検査つき</small> PET/CT(脳・体幹部)、MRI(腹部)、超音波エコー(頸部・腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種 ●免疫力判定検査(基本コース) ※差額追加(+15,000円+税)で安心コースへの変更も可能です。	約6時間	183,600円 <small>(税込)</small> [税抜 170,000円]
P3 コース プレミアムコース <small>PEMつき 女性のみ</small> PET/CT(脳・体幹部)、MRI(腹部)、超音波エコー(頸部・腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種 ●PEMつき	約6.5時間	194,400円 <small>(税込)</small> [税抜 180,000円]
M コース MRI人間ドック 体幹部MRIを中心とした人間ドックコースです。胃カメラはオプションです。 ※PET検査は含まれません。	約2時間	54,000円 <small>(税込)</small> [税抜 50,000円]

※ご注意/いずれのコースも内視鏡・子宮頸がん検査はオプションとなります。詳細は別表をご覧ください。

※当日終了後の結果説明はP1プレミアムコース(当日結果説明つき)のみです。他のコースでのオプション設定はありません。

※P2コースは、土曜日受診不可。

※上記、コース料金表は2018年3月現在のものです。

各コース・検査項目の詳細

※検査項目および検査料金は予告なく変更する場合があります。
詳しくはお問い合わせ下さい。

2018年3月現在

検査コース	Aコース	Bコース	Cコース	Dコース	P1コース	P2コース	P3コース	Mコース
	PET/CT 検診	PET/CT 人間 ドック	PET/CT がん 検診	PET/CT ・MRI 検診	当日 結果説明 付き	免疫力 判定検査 付き	PEM 付き ※女性のみ	MRI 人間 ドック
検査時間の目安	約3時間	約3.5時間	約3.5時間	約5時間	約6.5時間	約6時間	約6.5時間	約2時間
検査内容／料金 税込(税抜)・単位／円	75,600 (70,000)	86,400 (80,000)	103,140 (95,500)	151,740 (140,500)	194,400 (180,000)	183,600 (170,000)	194,400 (180,000)	54,000 (50,000)

基本検査	身長、体重、血圧、腹囲	●(腹囲を除く)	●	●	●	●	●	●
問診・診察		●	●	●	●	●	●	●
PET／CT	脳		●	●	●	●	●	●
	体幹部	●	●	●	●	●	●	●
PEM ※女性のみ							●	
胸部X線								●
MRI	脳					●	●	●
	脳定量コンピュータ解析(VSRAD)					●	●	●
	体幹部				●	●	●	●
心電図		●			●	●	●	●
眼科・耳鼻科検診	眼底検査、眼圧検査、視力、聴力検査	●			●	●	●	●
超音波検査	頸動脈				●	●	●	●
	甲状腺				●	●	●	●
	乳腺 ※女性のみ		●		●	●	●	●
	腹部、骨盤	●	●	●	●	●	●	●
マンモグラフィー ※女性のみ						●	●	●
腫瘍マーカー	※詳細は別表をご覧ください。			●	●	●	●	●
尿検査	糖、蛋白、潜血	●	●	●	●	●	●	●
血液一般検査	白血球数、赤血球数、血色素量、 ヘマトクリット、血小板数、血液像	●	●	●	●	●	●	●
生化学検査	総コレステロール、中性脂肪、HDL、 LDL、GOT、GPT、γ-GTP、ALP、 尿酸、クレアチニン、尿素窒素、 総ビリルビン、血清アミラーゼ、LDH、 総蛋白、蛋白分画、血清鉄、HbA1c、 CRP定量、アルブミン、A/G		●	●	●	●	●	●
	血糖		●	●	●	●	●	●
肝炎ウイルス検査	HBs抗原、HCV抗体	●	●	●	●	●	●	●
ペプシノーゲン		●	●	●	●	●	●	●
ピロリ菌検査			●	●	●	●	●	●
便潜血検査(2日法)	●	●	●	●	●	●	●	●
喀痰細胞診			●	●	●	●	●	●
動脈硬化度測定	大動脈石灰化度測定 冠動脈石灰化度測定 動脈硬化指数				●	●	●	●
	メタボリックシンドローム判定	●	●	●	●	●	●	●
	身体年齢測定	骨密度			●	●	●	●
ストレス度測定	問診				●	●	●	●
	唾液アミラーゼ				●	●	●	●
免疫力判定検査	基本コース						●	
	安心コース(木・日限定)						+16,200	
結果説明	当日終了後					●		
	後日(要予約)	●	●	●	●	●	●	●

プレミアム
コース内容

P1 コース 当日結果説明付き

P2 コース 免疫力判定検査付き<土曜除く>※オプション(15000円+税)でより詳細に免疫力判定を受けることができます。
…基本コースから安心コースにアップグレード<木曜・日曜限定>

オプション検査

- 脳検診を除き、単体での受診はできません。
- 各コース検診と同じ日に受診できない場合があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

2018年3月現在

レディースオプション

女性の方へ

検査項目	内 容	検査料金 税込(税抜)・単位／円
マンモグラフィー検査	X線によるマンモグラフィー検査です。	5,940(5,500)
乳腺超音波検査	乳腺を超音波エコーで検査します。	4,320(4,000)
乳腺専用PET【PEM】 (乳腺超音波検査を含む) ※女性のみ	乳腺専用の高解像度PET機(PEM)と乳腺超音波検査を併用して、乳腺をより詳細にチェックします。 PET/CTを受診される方のみのオプションです。	37,800(35,000) 〔※初回20%引き 30,240(28,000)〕
婦人科検診 ※外部提携施設での検査となります。	子宮頸がん検診(超音波・細胞診) ヒトパピローマウイルス検査	7,560(7,000) 5,724(5,300)

脳検診・もの忘れ検査

脳のチェックをしっかり行いたい方へ

検査項目	内 容	検査料金 税込(税抜)・単位／円
脳検診(頭部MRI検査)	脳MRI・MRA 脳の形態と血管画像で、脳の変化を検査します。 ※脳検診のみ受診することもできます。	21,600(20,000)
頸部MRA・超音波検査	頸部MRA、頸動脈・甲状腺超音波検査 脳検診を受診される方専用のオプションです。	12,960(12,000)
神経心理学検査	MMSE/MoCA-J/CASI/GDSほか 軽度認知障害(MCI)のスクリーニングを行います。	10,800(10,000)
もの忘れ脳検査	脳MRI・MRA・VSRAD・神経心理学的検査、 脳画像と統計解析、神経心理学的検査を組み合わせて 総合的にMCIのスクリーニングを行います。	32,400(30,000)

血液成分分析による専門検査

※詳細については専用のパンフレットをご請求下さい。

検査項目	内 容	検査料金 税込(税抜)・単位／円
免疫力判定検査 ●がん細胞から身を守る免疫力を総合的に評価する検査です。	基本コース 安心コース(基本コース+T細胞増殖能検査)	18,360(17,000) 34,560(32,000)
アミノインデックス検査 ●血液中のアミノ酸を分析して、部位ごとのがん罹患の将来的リスクを検査します。	男性5種(胃・肺・大腸・前立腺・膵臓) 女性6種(胃・肺・大腸・乳腺・子宮／卵巣・膵臓)	27,000(25,000) 27,000(25,000)

内視鏡検査・一般検査

※一部コースに含まれている項目があります。

別表(各コース・検査項目の詳細)をご確認下さい。

検査項目	内 容	検査料金 税込(税抜)・単位／円
上部消化管内視鏡 (水・土・日限定)	食道・胃・十二指腸を内視鏡画像でチェックします。	11,340(10,500)
大腸内視鏡 (月・水・木限定) ※外部提携施設での検査となります。	大腸を内視鏡画像でチェックします。	23,760(22,000)
肺機能検査	スピロメトリー検査	3,240(3,000)
ピロリ菌検査	血液抗体検査	3,240(3,000)
腫瘍マーカー	10種:別表をご参照ください。	12,960(12,000)
超音波(頸動脈・甲状腺)	頸動脈・甲状腺を超音波エコーで検査します。	8,640(8,000)

腫瘍マーカーの内訳

腫瘍マーカー検査とは?

がんができるによって発生する特殊な物質が血液中に増えているかどうかを測り、早期がんをスクリーニングする検査です。但し、がんであっても増えなかったり、がん以外の病気でも増えることもあることから、画像検診と組み合わせて総合的に判断します

腫瘍マーカー検査項目	10種		主な対象疾患
	男性	女性	
A F P	●	●	肝臓がんなど
C E A	●	●	悪性腫瘍全般(特に胃がん、大腸がんなど消化器系腫瘍、及び甲状腺がん、肺がん、乳がんなど)
S C C	●	●	子宮頸がん、肺がん、食道がん、頭頸部がんなど
C A 19-9	●	●	各種腺がん(特に胆嚢がん、胆道がん、胃がん、大腸がんなど消化器系腫瘍)
エラスター	●	●	脾臓がん及び脾疾患など
N M P 22	●	●	膀胱がん、腎盂尿管がんなど
S L X	●	●	肺がん、消化器がん、乳がん、卵巣がんなど腺がんを主とした広範囲がん
N S E	●	●	神経内分泌腫瘍、小細胞性肺がんなど
P 53抗体	●	●	食道がん、大腸がん、乳がんなど
P S A	●		前立腺がん及び前立腺疾患など
C A 125		●	卵巣がんなど

お知らせ

特別会員割引制度



がん罹患歴のある方に限り、
事前にご登録いただくと

C・D・プレミアムの各コース
10%割引
(A・B・Mコース、オプションを除く)

入会を希望される方は、当クリニックの窓口または郵便・宅配便で受け付けます。詳しくはお問い合わせください。

継続利用（リピーター）割引

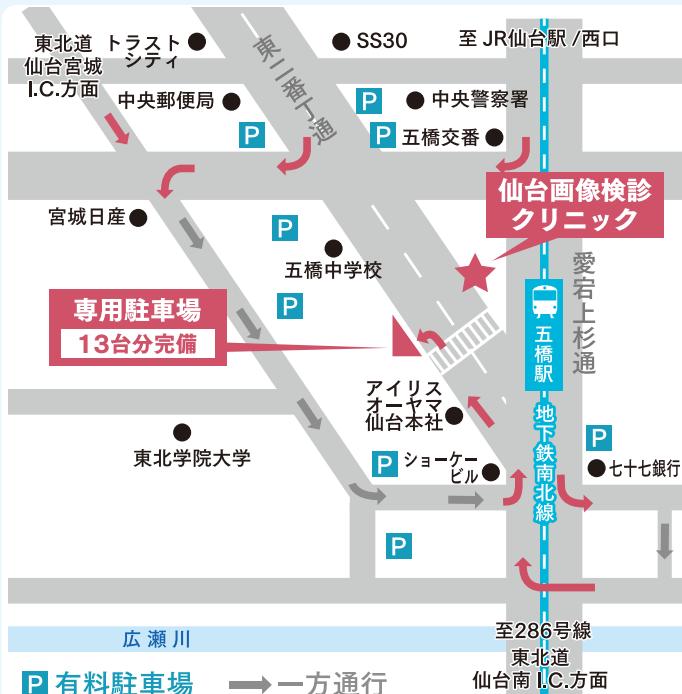
各コース受診後、2年以内に再度
申し込みいただくと

全てのコースが対象

5%割引

(オプション料金を除く)

※他割引との重複はできません。



アクセス

地下鉄

仙台市営地下鉄「五橋駅」下車、南1番出口より、道路向かい側すぐ。

J R

JR仙台駅西口より五橋方面へ徒歩約15分。

駐車場ご利用について

当院専用の駐車場は道路向かい側にございますが、区画が大変狭くなっています。大型の車両でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。検査時間に該当する駐車料金は当院にて負担いたします。

お申し込み・お問合わせ

お電話から

 **0120-865-750**

予約受付時間 8:45~17:15(土・日・祝休み)

※休日専用回線 022-211-9877(お問い合わせのみ)

土・日・祝日も受診いただけます。

インターネットから

<http://www.micjapan.or.jp>

